

KAPATIRAN/カパティラン

2022 年度事業報告

(2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日)

TEL/ FAX: 03-3432-6449

E-mail: kapatiran.tko@nssk.org

<http://kapatiran-jp.com/>

KAPATIRAN / カパティラン

2022年度カパティラン事業報告

(2022年1月1日～12月31日)

報告者 理事長 牧野兼三

1. 構成

理事：牧野兼三（理事長/聖アンデレ教会）、司祭神崎雄二、司祭宮崎仁（松戸聖パウロ教会牧師、柏聖アンデレ教会管理牧師）、井川和子（日本基督教団）、北村アイリーン（神愛教会）、鈴木幸夫（札幌キリスト教会）、須藤和男、山田修司（副理事長/書記）、山崎常城（副理事長・会計・広報/聖ルカ礼拝堂）

事務局：永瀬良子（聖救主教会）

(2022年12月現在)

理事会を月1回開催。個別案件については、分科会、メールによる協議、または臨時の理事会を開催。

2. 目的・ビジョンと事業（カパティラン「定款」より）

【目的】

キリスト教精神に基づき、日本に在住する外国人こどもたちや女性たちに寄り添い、多様性と共生を尊重した社会の中で、健康で平和な生活を営むために必要な自らの力を発揮できるように支援すること

【事業】

- 1) 在日外国人が日本社会の中で多文化と多様性を前提として共生していくための居場所づくり事業
- 2) 在日外国人のこどもに対する学習・教育・奨学支援事業
- 3) 当組織の事業の普及啓発、及び支援を強化するための事業
- 4) その他、当組織の目的を達成するために必要な事業

3. 事業報告

【総括】

2020年以降コロナ禍により、特に対面での活動の実施が難しくなっていたが、本年度4月以降はウィズ・コロナの中での活動として、感染対策に留意した上で「ごはん会」を復活することができた。また、年間を通じて、コロナ禍で経済的、精神的に不安定な状況にある学生たち一人一人に対し、寄り添う支援に取り組んだ一年でもあった。

1) 在日外国人が日本社会の中で多文化と多様性を前提として共生していくための居場所づくり事業

a. 「ごはん会」の開催（月1回）

原則月1回実施。若者たちやその家族が語り合い、情報共有をし、それぞれの課題や悩みを解決していくための場所として、また多文化共生を実践する場として、「ごはん会」を開催。2022年4月以降は人数制限、感染防止対策を徹底し対面で開催し、12月はクリスマス礼拝を行った。結果、延べ83名が集い、ほぼコロナ禍前の規模に回復している。会場は聖救主教会をお借りした。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
参加人数	6名	2名	6名	5名	5名	11名	9名	休み	9名	10名	7名	13名	83名
形式	対面	Zoom	Zoom	対面	対面	対面	対面	-	対面	対面	対面	対面	

b. ジェネラル・インフォメーション・サービス

自治体や関連団体、過去の繋がりからの相談電話を外部の団体や相談機関に取り次ぐ情報提供を継続。

c. サマーキャンプ 新型コロナウイルスの影響で中止。

d. 多文化共生ホームステイ 新型コロナウイルスの影響で中止。

2) 在日外国人のこどもに対する学習・教育・奨学支援事業

a. 海外にルーツを持つ高校生・大学生に対する給付型奨学金支給

支給額は大学生月2万円、高校生月1万円。

なお、受給者には1)a ごはん会への大学生は4回以上、高校生は1回以上の参加を義務づけている。

- ・大学生7名 (ルーツ: フィリピン: 4名、ロシア: 1名、ペルー: 1名、グアテマラ: 1名)
- ・高校生5名 (ルーツ: フィリピン: 5名)

b. 日本語学習支援事業

昨年より、高校生の奨学生(1名)に向けて、日本語の学習支援をサポート。桜美林大学の日本語支援の学生さんやゼミの先生、井川和子理事のご協力で、基本週3回、日本語学習支援を続けている。奨学生は12月の日本語能力検定4級を受験。

3) 当組織の事業の普及啓発、及び支援を強化するための事業

- カパティランタイムスの発行 年4回発行
- ホームページ、公式フェイスブックでの情報発信
- 教会訪問
- 寄附サイトによる情報発信 「Give One」で奨学金、多文化共生への寄附を募集。
- ファンドレイジング ギブワンへの参加、後援会募集の継続を行った。
- インターネット決済、サブスク支援の開発など新たな支援獲得のための検討
- 「第5回日本聖公会女性団体連絡協議会」への参加・報告
- 「難民・移住労働者問題キリスト教連絡会(難キ連)講演会」への講師(理事長)派遣

4) その他、当組織の目的を達成するために必要な事業

- 奨学生の引っ越しサポート
- 元奨学生の虐待家庭から自立支援ホームへの入居支援
- 元奨学生(卒業生)の妊娠に関する関係者との話し合い支援
*話し合いの場所として八王子復活教会をお借りした。
- 元奨学生の在留資格裁判に関する支援
- 元奨学生の交通事故被害に対する支援
- 元奨学生の大学進学に関する相談対応
- 元奨学生の家族からの相談対応

4. 決算報告

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	2022年	2021年	前年比(%)	科 目	2022年	2021年	前年比(%)
事業費	5,845,319	5,639,680	103.6%	①献金・寄付収入	1,220,369	1,512,352	80.7%
共通	2,842,328	1,684,000	156.9%	受領献金・教会	738,669	669,552	110.3%
人件費	2,842,328	1,684,000	156.9%	受領献金・個人	481,700	842,800	57.2%
①ソーシャルフォーメーション事業費	13,016	13,118	99.2%	②後援会費	200,000	245,000	81.6%
②ごはん会事業費	319,337	90,704	352.1%	③教区協力金	3,000,000	3,000,000	100.0%
有償ボランティア	87,000	6,000	1450.0%	④助成金	0	1,200,000	0.0%
活動費(食料・保険・会場費)	144,957	51,254	282.8%	⑤奨学金	333,900	524,850	63.6%
交通費(補助等)	87,380	33,450	261.2%	⑥多文化共生ホームステイ	21,000	98,500	21.3%
③奨学金事業費	2,280,000	3,121,100	73.1%	⑦行事関連収入	0	0	#DIV/0!
奨学金	2,280,000	3,120,000	73.1%	⑧雑収入	4	13	30.8%
交通費(選考時)	0	1,100	0.0%				
選考委員会費	0	-	#DIV/0!				
④キャンプ事業費	78,596	272,485	28.8%				
交通費	62,861	161,292	39.0%				
活動費(食料・保険・会場費)	15,735	111,193	14.2%				
⑤ホームステイ事業費	0	10,000	0.0%				
交通費	0	10,000	0.0%				
活動費(保険・食費・通信費)	0	-	#DIV/0!				
⑥行事関連費	0	-	#DIV/0!				
⑦広報事業費	212,042	209,769	101.1%				
印刷・広告費(タイムス他)	60,737	48,454	125.3%				
発送費	151,305	161,315	93.8%				
⑧協力費	0	12,000	0.0%				
⑨緊急支援金	300,000	226,484	132.5%				
管理費	521,857	247,470	210.9%				
人件費	0	0	#DIV/0!				
福利厚生費	299,952	0	#DIV/0!				
交通費	97,920	97,920	100.0%				
OA関係費	10,604	11,581	91.6%				
通信費	105,289	118,097	89.2%				
支払手数料	8,092	9,872	82.0%				
雑費	0	10,000	0.0%				
支出計	6,367,176	5,887,130	108.2%	収入計	4,775,273	6,580,715	72.6%
次期繰越金	-1,591,903	693,585	-	資金取崩金			
合 計	4,775,273	6,580,715	72.6%	合 計	4,775,273	6,580,715	72.6%